

令和4年度 学校関係者評価報告書

令和4年度の学校評価委員会を開催し、自己評価結果及び発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

評価実施日：令和4年9月13日（火）

学校関係者評価委員：

企業委員2名、有識者委員1名、卒業生委員2名、高校関係者委員1名（計6名）

評価コメント：

評価	評価に係る提言・改善等
(1) 教育理念・目標 全項目について適切に運営している。	学園本部を中心として、明確な教育理念・目標に従って教育業務を実施している。
(2) 学校運営 適切に運営しているが、情報システム化等による業務の効率化に不十分な点がある。	校務システム、募集システムについて、新システムへの移行をすすめることで改善を図る。
(3) 教育活動 適切に運営している。 職員の高齢化が進み、退職による人員不足などのリスクが想定される。	講師職を希望する学生を育成することで人材の確保を図る。また、若手職員の教育体制を整え、育成のスピードを上げる。
(4) 学修成果 資格取得及び、就職率の向上が図られている。 卒業生の動向を把握すべきである。	卒業時に学生のメールアドレスを収集し、承諾を得たうえで卒業生への連絡用に使用する。
(5) 学生支援 コロナ禍により、課外活動が満足に行えていない。 卒業生への支援を実施すべきである。	地域の感染状況を見ながら可能な範囲で課外活動を実施する。 卒業生の状況把握を強化し、離職者に対する中途採用など、支援充実を図る。
(6) 教育環境 全項目について適切に運営している。	問題なく実施されている。
(7) 学生の受入れ募集 全項目について適切に運用している。	問題なく実施されている。
(8) 財務 財務基盤が安定しており健全な学校運営がなされている。	問題なく実施されている。

<p>(9) 法令等の遵守 全項目について適切に運用している。</p>	<p>個人情報の運用に関しては、学校基準に従って適切に管理運用している。</p>
<p>(10) 社会貢献・地域貢献 全項目について適切に運用している。</p>	<p>北九州教育委員会の要請により、一般社会人を対象とした北九州市民カレッジ提携講座(IT リテラシー研修)を年に1回実施している。また、献血や清掃活動を行うことで、地域貢献を図っている。</p>

以上